

第 11 回 西蒲区自治協議会 議事概要

日時：令和 7 年 3 月 27 日（木）

午後 2 時 00 分～午後 4 時 55 分

場所：巻地区公民館 3 階 小ホール

<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>皆さま、定刻となりましたので、ただ今より、令和 6 年度第 11 回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>初めに、本日の資料の確認をお願いします。</p> <p>事前に送付した資料として、資料 1-1 から 1-3、各部会の会議概要、引継書、協議事項。資料 2、令和 6 年度区自治協議会提案事業 事業評価書（案）。参考資料、令和 7 年度西蒲区自治協議会 会議日程表。西川さくらマルシェのチラシ。</p> <p>本日、机上にお配りした資料として、本日の次第。資料 3、第 10 期西蒲区自治協議会委員候補者名簿（案）。資料 4-1、新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～についてと、概要版パンフレット。資料 4-2、中学生のための地域クラブ活動 推進方針。資料 5、新しい「西蒲区生活交通改善プラン」の公表についてと、プランの冊子。参考資料、西川さくらマルシェと角田山麓・矢垂の郷 花見フェスのにしかん応援隊募集シート。角田山麓・矢垂の郷 花見フェスのチラシ。</p> <p>資料は以上となりますが、不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、これ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第 9 条の規定により、吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>皆さま、お疲れさまです。いよいよ第 9 期の自治協議会も、本日で最後となりました。2 年間大変ありがとうございました。</p> <p>9 期の会長・委員のあいさつは、最後に予定しています。今日は残念ながら渡辺忠矢委員は欠席なのですが、区長も課長も入ってのコミュニケーションタイムをこのあとしますので、まだしゃべったことのない方や役所の方とぜひ交流いただき、第 9 期の締めにあふさわしい自治協議会になるよう、お願いしたいと思います。</p> <p>それでは、委員の出席状況等について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員 29 名のうち、本日の欠席者は 4 名であり、過半数の出席を確認しております。</p> <p>従いまして、新潟市区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規定を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴については 1 名、報道は新潟日報社が来場しております。</p> <p>事務局および報道機関では、写真撮影および録音をしますのでご了承ください。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入る前に前回同様、委員同士のコミュニケーションを図るために、今期は今回が最後ですが、今後もいろいろなところでコミ協・団</p>

	<p>体等が関わって、つながっていくと思いますので、コミュニケーションタイムを20分とります。</p> <p>今回は、区長をはじめ、課長・出張所長もテーブルに入ってもらいます。それでは20分間、2時半頃まで、よろしくお願いします。</p>
(会場)	(コミュニケーションタイム)
議長 (吉田会長)	<p>皆さま、最後のコミュニケーションタイムいかがでしたでしょうか。区長をはじめ、課長・所長・センター長・図書館長、大変ありがとうございました。皆さま、楽しそうにお話をしていたようなので、前回も言いましたが、もっと早くやっていたら良かったなと思います。大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入ります。議事(1)「各部会の状況について」です。今回は、第10期への引継書の内容を説明いただくとともに、部会内で検討した協議事項について、皆さまからご意見をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、総務部会古島部会長、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>総務部会から報告します。</p> <p>先月行いました、第10回総務部会では、アンケートの集計結果と当日の感想を共有し、事業評価について協議を行いました。</p> <p>事業評価については、主に成果と課題について協議を行いました。資料に記載のとおり、成果と課題を決定しました。こちらについては、後ほど、議事(2)で説明します。</p> <p>次に、第10期への引継書の案についても意見交換を行い、2枚目の資料とおりとなりました。第9期で実施してきた事業の概要・効果、裏面には課題、次のステージへ進めるための必要な取組を記載しています。今期は、防災に関する事業を中心に実施してきましたが、事業全体を通して、学生、若い世代のアプローチが必要と感じたところです。</p> <p>引継書の作成にあたり、他部会への協議事項として、テーマを総務部会が所管する分野における課題についてとしました。3枚目の資料をご覧ください。今期の総務部会では、防災演劇や避難所体験など、防災・減災を中心に事業を実施しました。防災・減災は、災害発生時など命を守るために必要な学びであり、本当にしつこいくらい継続して伝えていかなければならないものと考えています。総務部会が所管する分野は、防犯・公共交通・文化・スポーツ・教育など多岐にわたっています。防災・減災だけではありません。</p> <p>については、次のとおり、意見を聴取します。先ほど、防災・減災はしつこいくらい継続して伝えていかなければならないとお伝えしましたが、今期の事業の参加者が比較的高齢の方に偏っていたということから、①防災・減災をより広い世代に伝えていくために、どのような取組を実施するべきでしょうか。②皆さまが日頃生活する中で、総務部会が所管する分野の防災以外で何か課題に感じていることはありますでしょうか。</p> <p>皆さまからのご意見をいただきたいと思います。総務部会からは以上で</p>

	す。
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。いよいよ総まとめになりますね。</p> <p>今ほど、古島部会長から説明のあった、資料 1-1 について、引継ぎ、協議事項①・②を含めて、皆さまから意見をお願いしたいと思います。質問でも構いません。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>田中委員、お願いします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>岩室の田中です。</p> <p>防災・減災の取組をこれまでしてきたということですが、私どもの地域では、昨年の子日の大きな地震、そして津波警報、さらには秋の長雨での避難指示で、避難を経験し、災害はもうテレビの中で起こっていることではないということを感じています。</p> <p>自治協では、これまで様々な啓発活動をしていると思いますが、避難指示が出ても、実際のところ、高齢者をはじめ、なかなか動いてくれない、避難してくれないというのが現実であり、このような人たちに何とか避難してもらえよう、そういうアプローチ、取組ができたらいいいのかなと思います、提案します。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>本田委員、お願いします。</p>
(本田委員)	<p>中之ロコミ協の本田です。</p> <p>私は②について、今回の会議資料にもありますが、中学生のための地域クラブ活動について、地域のこどもたちのために、コミ協としてもなにか手伝いや支援できることはないか、考えていかななくてはいけないと思っているので、もし総務部会で取り上げて、西蒲区全体で共有できたらいいのではないかと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>石田委員、お願いします。</p>
(石田委員)	<p>少し違うかもしれませんが、総務部会として、この自治協の運営方法、何を、どのようなやり方でやっていくのか。自治協の守備範囲はどこまでで、コミ協や行政とももちろん絡んでいるわけなので、自治協議会が自主的に何をやるのかというあたりが、少し私の中ではっきりしていないので、総務部会で検討していただきたいと思っています。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p>
(鈴木委員)	<p>引継書の裏面の 3 どのような課題が残っているのか、を見て思ったのですが、こどもたちの体験、学生につなげて、伝えていくかということは、非常に大事だと思うのです。今まで総務部会がやってきた防災は、私たちの生活でとても大切なところなのですが、やはり総務部会の知恵があるからこそ、こどもたちを対象にということで、もっとぜひやって欲しいと感じま</p>

	した。以上です。
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>それでは、今ほどご意見のありました、避難時の動き、中学生のクラブ活動、令和8年度から完全移行になりますので、それに関する取組、さらに、石田委員から発言のあった、自治協の全体的な運営方法、それと、こどもの体験について、引継書に付け加えていただくということで、古島部会長、いかがでしょうか。</p>
(古島委員)	<p>たくさんのご意見ありがとうございました。付け加えて、次年度に引き継ぎたいと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>皆さまの貴重なご意見大変ありがとうございました。古島部会長もありがとうございました。</p> <p>続きまして、保健福祉部会岩崎部会長、お願いします。</p>
(岩崎委員)	<p>保健福祉部会岩崎です。それでは、保健福祉部会から報告します。</p> <p>資料1-2をご覧ください。2月に開催しました、第12回保健福祉部会では、令和6年度区自治協議会提案事業と、第10期への引継書について協議を行いました。</p> <p>提案事業については、丹野智文さん講演会&映画オレンジ・ランプ上映会のアンケート集計結果を共有し、意見交換を行いました。さらに、意見交換の内容を踏まえて、事業評価書について協議をしました。具体的には、後ほど議事(2)でご説明します。</p> <p>第10期への引継書については、協議の結果、2枚目のとおりとなりました。第9期で実施した事業の概要・効果、裏面には課題・次のステージへ進めるために必要な取組を記載しています。今期は、認知症と支え合いをテーマに取り組みましたが、若年層や男性への波及など、課題として挙げています。</p> <p>それを踏まえて、次の事項について、皆さまから協議をお願いしたいと考えています。3枚目の資料をご覧ください。今期の保健福祉部会の事業の参加者の傾向から子どもや現役世代・男性への波及に課題がある、それから、近年、福祉分野を中心に取り組んできましたので、福祉分野以外の保健福祉部会が所管する分野の取組を検討すべき、という意見が挙がり、今後に向けて、次の2点についてご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>1つ目は、子どもや現役世代・男性に健康づくり・支え合い・介護・子育てに関心を持ってもらうためのアイデアです。例えば、男性に参加してもらうために、男性だけの方が集まりやすいのではないかとということで、男性だけが参加できる事業を実施してみてもどうかとか、男性が興味を持ちやすいようなeスポーツ・筋トレをきっかけとするような事業を実施してみてもどうかなど、アイデアをお聞かせください。</p> <p>2つ目は、西蒲区に必要な生活環境分野の取組のアイデアです。生活環境とは、環境美化、ごみの関係や、野生動物、動物愛護などです。例えば、ごみ減量の取組、野生鳥獣の被害予防の取組など、アイデアをお聞かせくださ</p>

	い。以上よろしくお願ひします。
議長 (吉田会長)	大変ありがとうございました。 皆さま、ご意見いかがでしょうか。ぜひ、積極的にお願ひします。 唐澤委員、お願ひします。
(唐澤委員)	<p>男性に健康や支え合いについて関心を持ってもらうためのアイデアということで、まずはそういった事項を取り上げていること自体が素晴らしいと思ひました。私は、長岡市で NPO 法人に携わっているのですが、問題意識を持ってやっていることとしては、こども孤立対策です。日本でも、世界で 2 番目に孤立対策本部ができて、もともとはイギリスでそういった対策が始まり、孤独はアルコールよりも、過度な飲酒よりも、タバコよりも健康上のリスクが高いということで、すごく社会的に問題視されています。そんな中で、地域の茶の間など取り組んでもなかなか男性が出てこない。女性の方は出てくるけど、男性がなかなか出てこず困っているという話は、よく聞きます。なので、本当にその課題に沿っているアイデア、支援だと思ひました。</p> <p>私も長岡で取り組んだり、イギリスの情報などを見たりしていると、男性というものは、コミュニケーション取るよりも、同じ作業があると出てきやすいとのことでした。イギリスの事例では、工作や DIY など喋らなくても良いようなことに向き合いながらも一緒に空間にいるという環境だと、男性は出てきやすくなると。独りだと寂しいからおいでよ、一緒に喋ろうよ、と言うと来ないという話がありますので、そういった意味では、筋トレというような記載もありますが、何かを手を動かしながら作るような場があるといいのではないかと思ひました。</p>
議長 (吉田会長)	大変ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 上原委員、お願ひします。
(上原委員)	私どももコミ協で健康教室をしているのですが、参加者が女性ばかりという状況です。なので、男たちだけで集まって何かおもしろいことができな いか、といろいろ相談していたのですが、健康教室の先生から、燕市で男性 だけが集まっている健康教室があると聞きました。そこでは、ゲームをし たりして楽しそうな雰囲気ということで、今後何人かでお邪魔して、見て来 ようと思ひています。参考にすべきことがあったら、またお話ししたいと思 ひます。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 柳原委員、お願ひします。
(柳原委員)	お疲れさまです。私は、PTA からここに参加して 2 年経ちます。男性だけ で、さらに様々な世代が参加できるようなものがあると良いのかなと思 ひます。また、子育て世代のお父さんとしては、こどもも参加できるような仕 組みづくりが必要だと、この自治協での 2 年間で感じました。保健福祉部 会だけに限らずです。
議長	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

(吉田会長)	小林委員、お願いします。
(小林(ア)委員)	私はスポーツが好きなので、2年ぐらい前から友だちと吉田でパークゴルフをやっています。そこでパークゴルフをしている人を見ると、70代～80代前半、以前ゴルフをたくさんやっていた人が、次のステージとして、パークゴルフをしている感じです。男の人も半分ぐらいいます。西蒲区には、残念ながら、パークゴルフ場はありませんが、ぜひやってみてください。 スポーツをきっかけとした事業も良いのではないかと思います。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。 城山運動公園では、グラウンドゴルフができますが、穴がないのですよね。パークゴルフは、穴があるのですよね。 ご意見ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 若杉委員、お願いします。
(若杉委員)	若杉です。2番の生活環境について、私の近所の話なのですが、隣の家には鳩が巣を作ってしまった。ベランダに来たりした時の対策が、すごく難しいなと思っています。巻駅にも鳩がたくさんいたと思うのですが、最近、対策されているみたいです。確か、鳩は殺してはいけない動物になっているのですが、どこに相談したらいいのだろうと。隣の家には言えいいのですが、なかなか動いてもらえない場合、どのような対策ができるのか、動き方が分からないなど。そういった知識を広報などで、紹介していただきたいなと思いました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。鳩はすごいですよね。 ほかにいかがでしょうか。 いろいろなご意見ありました。男性にターゲットを当てる、DIYや、体を動かす健康教室、ゲーム、世代間交流、パークゴルフ、そのほか生活環境という話もありました。 意見を整理して、事務局で付け加えていただきたいと思います。岩崎部会長、いかがでしょうか。
(岩崎委員)	いろいろなご意見をありがとうございました。参考にしながら、来期に取り組んでもらえればいいなと思います。 なお、鳩の関係については、古島委員から少しあるようです。
議長 (吉田会長)	古島委員、お願いします。
(古島委員)	私の地域でも、鳩がすごくて。JAの倉庫があって、米があつたりするものすごい数が増えて、車がひどいことになっています。ある人が試しに、風が吹くと首が回るふくろうをベランダに立てたのですが、そうしたらいなくなったということです。それで、もう1個置いて、電線も鳥が留まらないように、同時にやったところ、いなくなりました。遠くから見ているみたいです。

<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。 そういう相談は、区役所だと区民生活課でしょうかね。 それでは、保健福祉部会はよろしいでしょうか。 最後に、まちづくり・産業部会大橋部会長、お願いします。</p>
<p>(大橋委員)</p>	<p>資料 1-3 をご覧ください。部会を 2 回開催し、10 期への引継書の作成、集まれ!地域のイベント自慢大会代替事業について、検討しました。裏面は、自慢大会代替事業の実施日のものです。お悩みトークショーということで、3 月 1 日に実施し、NAMARA の江口さんからおいでいただき、参考になる意見を出していただき、本当に良かったと思っております。</p> <p>次に、第 9 期西蒲区自治協議会から第 10 期への引継書についてです。昨年度は、潟東のカモねぎまつりで、にしかん応援隊のモデル実施をしました。令和 6 年度は、にしかんライフフェス田、にしかん応援隊、集まれ!地域のイベント自慢大会を実施して、取組を進めたところです。次の 2 ページには、提案事業の実施による効果をまとめました。記載のとおりです。次の 3 ページは、どのような課題が残っているかということで、応援隊については知名度不足、徐々に浸透してきているのですが、まだまだ PR が足りない・不足しているのではないかとということです。それから、応募が少ない、募集をしても応援隊人数が集まらないということです。募集シートの書き方や情報が少ないということで、仕事の内容や集合場所、駐車場などについて、もっと情報として出した方が良いのではないかとこともあります。応募にあたって、不安があるのでないかと感じています。募集側の悩みとしては、どれだけ人数が集まるか分からないので非常に不安、計画もなかなか思うように立てられないと聞いています。次に、実施してきた取組を次のステージに進めるためにはどのような取組が必要なのかについてです。知名度不足は、自分たちの地域のイベントに応募してもらえるように、地域の人たちから、イベントのチラシやポスターに積極的に応援隊の内容を載せてもらえるように働きかけていくということです。応募が少ないことは、応募したくなるような工夫をやっていったらどうかということです。参加メリットとしての特典付与は一過性のもので、祭りやイベントなどはそもそも何のためにやっているのかという意義や思いを、今一度掘り起こして地域の若者などへ伝えることも必要ではないのかなということです。募集側の悩みに対しては、コミ協などの募集する側をターゲットとして絞り、地域づくりに関するコンパクトなセミナーなどを開催し、併せて応援隊の取組や必要性、募集の仕方などを伝えたらよいのではないかとということです。</p> <p>協議事項についてです。にしかん応援隊のさらなる活用について、積極的に皆さまからご発言やご意見等いただければ非常にうれしく思います。</p> <p>にしかん応援隊は、1 年度で終わるものではありませんので、今後も継続する中で、にしかん応援隊の情報が応募側に届いていないことや、募集側の不慣れなどによって、応募と募集のマッチングがうまくいっていない・活用数が少ないことが課題として挙がっています。募集をした人数どおりには、</p>

	<p>なかなか集まらなかったということです。応募側への周知は、先ほどからお話ししているとおり、募集情報が区民に届かないのではないかとということで、イベントのチラシやポスターなどに、積極的に応援隊の内容を載せるようにしていったら、募集が集まるのではないかと部会として考えています。募集者側への働きかけも重要です。</p> <p>ぜひ忌憚のない意見をお出しいただければと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。にしかん応援のさらなる活用についてということです。皆さま、いろいろなご意見をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>田中委員、お願いします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>お疲れさまです。にしかん応援隊の募集にあたっては、担い手不足の補完という面と、地元のイベントをほかの地域の人たちに知ってもらいたいという面があると思うのですが、2月8日に実施予定だったけれども中止になった提案事業は、後者が主な内容で非常に良い企画だったのですが、残念でした。ただ、その催しで発表するために、コミ協がまとめてくれたPowerPointのデータや説明用の文章が成果物としてあるわけなので、それをうまいことまとめて、各地のイベントをなにか広報紙で発信して、より広く知ってもらうという取組も必要でないかなと思いました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>栗原委員、お願いします。</p>
(栗原委員)	<p>漆山コミ協の栗原です。にしかん応援隊なのですが、私も西川の音楽イベントで1回参加して、その時の申し込みが2次元バーコードからできたのです。ほかのイベントの募集シートを見ると、申し込みは電話だったりするのですが、やはり2次元バーコードだと、気軽に応募できる、とても応募しやすかったです。コンパクトなセミナーを開催するという事なので、2次元バーコード、ネット申し込みできるように、そのやり方をお伝えするのもよいのではないかなと思いました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>青柳委員、いかがでしょうか。</p>
(青柳委員)	<p>青柳です。今、栗原委員とも少し話していたのですが、栗原委員がお話しされた2次元コードでの申し込みで、集まりやすくなるのではないかなと思います。</p> <p>それと、地域自慢大会の代替のトークショーを当日聞いていたのですが、NAMARAの江口さんがおっしゃっていた、「にしかん応援隊」から名前を変えてみたらどうかということも、もしかしたらよいのではないかなと思いました。また、NAMARAの江口さんがトークショーの時に、トークショーの前にやっていたじゃんけん大会を仕切っている人も登壇してもらおうと呼びかけて、吉田委員が登壇した際に「こうやって集まっているではない」と。各地域でイベントにそれぞれの地域の人たちが遊びに行って、ま</p>

	<p>だ知らないイベントや地域の魅力もあると思うので、そういったものを委員の皆さまが知っていることで、外に向けて魅力などを発信しやすくなるのではないかと思います。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 鈴木委員、お願いします。</p>
<p>(鈴木委員)</p>	<p>周知もそうですが、結局、応募する側として考えていくと、今日配布された募集シート2枚、さくらマルシェと花見フェスがありますが、イベントがあることは分かるのですが、手伝いたいとか、手伝うかどうしようかと、これを見て言う人がいるのかなと。もう地元のグループの輪ができていないのではないかと考えた入りづらさと思います。どのような人がいるのか。どうしようもないことなのかもしれないけど、見えないということは不安要素として大きいと思います。そこを解決するためには、例えば、西川だと電話かけているおばちゃんの絵がありますが、少しでも和ませて、親しみやすい雰囲気づくりが必要なのではないかと思います。謝礼がないことについては、お金を出せと言うわけではありませんが、「お弁当はあります」とかそういうことも必要なのかなと。あとは、例えば、仕事内容がごみ拾いだったら、イベントの当日に来ている人に声をかけて、親子でごみ拾いボランティアしてみませんか、などというのも良いかもしれません。募集シートに頼るだけでなく、当日ならではのやり方があってもいいのかなと考えました。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 いろいろな意見が出ました。鈴木委員が言ったとおり、誰も知らない中に参加するというものは、すごくハードルが高いと思います。じゃんけん大会の話も出ましたが、じゃんけん大会実行委員は67人で、各学校に行きって審判をするという役割で明確なのです。ただ、地域の祭りとなるといろいろと考えてしまったりして、手伝いに行ってもどうかなと、自分で勝手にハードルを作ってしまうのではないかと思います。とにかく口コミで、まずはいろいろな人に関わってもらって、その人たちがSNSとか、友人とかに「まき夏まつりの応援隊に行ったらすごく楽しかった」と発信していくことから始めないと、周知をしても参加してもらうのは難しいと思います。ちなみに、今回のまき夏まつりのポスターには、石田委員の提案で、応援隊の2次元コードが載っています。皆さまからもそのような協力をいただいたり、自治協委員を退任される方も応援隊に来ていただいたり、お願いします。 皆さまの意見をまとめますと、イベント当日に呼びかけたり、チラシに申し込みの2次元コードを掲載したり、2次元コードの作り方の講習をしたりしながら、継続できるとよいのではないかとということでした。 いろいろなご意見が出ましたが、大橋部会長、いかがでしょうか。</p>
<p>(大橋委員)</p>	<p>大勢の皆さまからご意見をいただき、大変ありがとうございました。 田中委員から意見のあった、発表資料等の活用については、今、対応し</p>

	<p>ています。2次元コードもよいと思っています。こういうもの活用して対応していけば、申し込みもどんどん増えてくる可能性はあるなどと思っています。名前の変更は、即答はできませんが、検討していきたいと思ひますし、トークショーの中でNAMARAの江口さんから、にしかん応援隊についてラジオでぜひ話をよというこももありました。今後、検討していきたいと思っています。誰がいるか分からないから不安で申し込みにくいのではないかということと、参加者へのお礼も、私、個人としては検討してもよいと考えています。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございます。意見を整理して、事務局で付け加えていただきたいと思ひます。</p> <p>皆さま、3部会に対して、いろいろなご意見をいただき、大変ありがとうございました。</p> <p>議事(1)を終了します。</p> <p>続いて、議事(2)「令和6年度自治協議会提案事業の事業評価について」です。こちらは、各部会から順次、説明をしていただき、最後にまとめて質疑の時間をとりたいと思ひます。</p> <p>古島部会長、岩崎部会長、大橋部会長の順でお願いします。それでは古島部会長、お願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>総務部会から、評価について説明します。</p> <p>2月に実施した事業の事業評価について説明します。資料2をご覧ください。この事業は、災害時における被害を最小限に抑えるべく、自らできる減災について学んでもらうために実施したものです。</p> <p>事業の実施実績の欄をご覧ください。事業の名称・開催日時・内容などは、これまでの部会報告などで説明していますので、割愛します。当日の参加者は82名で、持ち物として、持っている人のみですが、非常用持ち出し袋を持ってきてもらいました。続いて、アンケートの結果ですが、82名のところ79件のアンケートを回収することができました。アンケートには、日本の防災に遅れがあることが分かった、避難所体験に参加して日頃から地域の人と顔を合わせておく必要があると感じた、などの感想がありました。</p> <p>続きまして、事業の評価をご覧ください。この事業を実施した成果としては、避難所の運営は地域の人たちで協力してやらなければならないことを伝えることができました。行政の動きが遅いというようなことを言う方もいるようですが、行政ばかりに頼ってはいけないのだということ意識づけられたのではないかと思ひます。さらに、実際に会場の照明を落とすことで、各自が備えているライトがどの程度の役割が果たすのかを検証してもらうことができました。非常袋に備えてられるものが、どれくらい明るさなのかと。スマートフォンで照らしていた方も中にはいらっしゃいました。見直しのきっかけになればと思ひ、実施をしました。また、初めて顔を合わせる人同士で話し合うことは、非常にハードルが高いですが、</p>

	<p>普段から地域の人と関わることの大切さを伝えることができたと思います。防災だけではなくて、日頃から地域の支え合い的な部分でも、非常に大事なことだという意識づけができたと思います。アンケートの結果から、「良かった」と答える人が7割を超えており、比較的満足度が高い事業だったと思っています。以上を成果としました。対する課題としては、昨年度の防災演劇もそうでしたが、防災に関する事業は、「やって終わり」では意味を成さないのので、今回体験してもらった、学んでもらったことを活かしてもらい、働きかけが必要だと考えています。継続した意識づけが大切だと思っています。</p> <p>以上が、2月に実施したリアル避難所体験の事業評価となります。総務部会からは以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>続きまして、岩崎部会長、お願いします。</p>
(岩崎委員)	<p>保健福祉部会で実施した事業の評価について、説明します。資料2の2枚目をご覧ください。今年度、保健福祉部会では、大きく2つの事業を実施しました。</p> <p>1つ目は、丹野智文さん講演会&オレンジ・ランプ上映会です。開催日時などの概要は記載のとおりです。アンケート結果から、映画・講演のどちらについても満足度が高く、認知症について理解が深まり、前向きにとらえることができたとの感想をいただきました。</p> <p>2つ目は支え合いの意識醸成事業です。「支え合いの大切さ」を広める標語の募集と、「3のつく日は支え合いDAY」の啓発を行いました。概要は記載のとおりです。</p> <p>事業評価については、裏面をご覧ください。効果としては、認知症の当事者である丹野さんによる講演と、実話に基づく映画の鑑賞を通じ、認知症に対する新たな気付きや、よりよく生きるヒントを得ることができたということ、他団体で同様の事業を実施する動きが出てきているということです。課題としては、地域の支え合いや家族の介護において必要とされている、若い世代への啓発を目的として実施したのですが、昨年度より若い参加は多くなっているものの、依然として少ない状況です。今後に向けては、若い世代や男性へ波及させるための工夫を、引き続き検討する必要があることと、支え合い・助け合いの意識づくりは短期間では難しいため、さまざま手法で継続して働きかけていくことが必要であるとしました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後に、大橋部会長、お願いします。</p>
(大橋委員)	<p>まちづくり・産業部会から報告します。地域の交流を促進し、人と人があたたかくつながるまちづくりをテーマに、にしかん応援隊とPRイベントを実施して取り組みました。</p> <p>事業目的・概要については、にしかん応援隊制度をきっかけとして参画</p>

	<p>した応援隊が地域に関わることで、地域の豊かさを知ってもらい、ボランティアから始まり、ゆくゆくは地域の担い手・後継者発見につなげていくというものです。また、自分が住んでいる地域や、ほかの地域のことを知るきっかけとしてもらうということも目的です。今、地域の交流や地域の活性化が、以前より少し弱くなっているのではないかと思います。そういうことも含めて、応援隊制度を活用していただければと思っています。</p> <p>事業の実施実績です。にしかん応援隊の実績は、各地区で行われている11イベントで制度を利用いただき、のべ45人の応援隊メンバーから参加していただきました。もう1つは、集まれ!地域のイベント大会です。2月8日に実施予定でしたが、大雪のため中止となり、代わりに、NAMARAの江口歩さんによる、地域のお悩みトークショーを実施しました。地域にはいろいろな悩みがあり、そういった悩みを話して、解決をできることはしていこうという内容です。江口さんとまちづくり・産業部会のメンバーで、地域の悩みを共有するとともに、にしかん応援隊の制度のPRをしました。</p> <p>成果としては、参加者が応援隊をきっかけとして、普段、訪れない地域、そこで行われるイベントを知ったり、参加したりすることにつながったということです。それから、イベントの運営側として参加することで、より深くイベントや地域の魅力を知るきっかけとなったということです。ただ、イベントに参加するのではなくて、実際に主催側に立った取組ができるということです。課題としては、徐々に成果は浸透してきているが、まだまだPR不足であるということ、応募が少ないということから募集しているイベントの情報が届いていないということがあります。それから、非常によい仕組みなのだが、効果が出るまでに時間がかかるということで、もう少し長い目で見る必要があるのではないかと思います。今後期待される効果としては、いきなり地域に入ることはハードルが高いと思うので、まずは、応援隊をきっかけとしてイベントに関わっていただき、ゆくゆくは地域の担い手や後継者につながっていくということで、参加しやすくなるような工夫や体制を考えていったらよいのではないかと思います。今後の方向性としては、いくつか記載がありますが、制度が活用されるように市民への周知が必要とか、コミュニティ協議会などの募集側へのするような働きかけ、そういった考え方をまとめとしています。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。それでは、今ほどの3部会の事業評価について、なにかご意見・ご質問はありますでしょうか。</p> <p>部会で大分議論していただいたと思います。こちらの案のとおりでよろしいでしょうか。</p>
<p>(会場)</p>	<p>(拍手)</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、こちらのとおりとしたいと思います。大変ありがとうございました。</p>

	<p>ました。</p> <p>それでは、議事（2）を終了します。</p> <p>続きまして、議事（3）「次期西蒲区自治協議会委員について」です。委員推薦会議の上原座長、お願いします。</p>
（上原委員）	<p>資料3をご覧ください。前回の推薦会議で、委員候補者28名の推薦について承認いただいたところですが、変更があった部分、前回決まっていなかった部分について、追加で承認をお願いするものです。</p> <p>資料3に番号がふってありますが、10、JA新潟かがやき女性部は、団体から委員候補者の変更があり、近藤イツ子さんを新たに推薦いただきました。次に17、西蒲区社会福祉協議会は、団体から池田貴之さんを推薦いただきました。最後に、27、学生またはまちづくり実践者の枠は、事務局で学生を探しましたが、残念ながら参加いただける学生さんを見つけられなかったということで、若い方で、まちづくり実践者、中之口地区をはじめ、西蒲区の各地区でマルシェなどを計画・運営し、地域活性化に取り組んでいる、佐々木貴生さんを推薦することとしました。</p> <p>最終的に10期への改選により、新しく委員として推薦された方は、30名中20名となりました。網かけの部分です。また、女性委員候補者については、10名で、全体の33.3パーセントとなりました。</p> <p>以上が、現時点での第10期西蒲区自治協議会の委員候補者の案になります。変更・追加の3名の委員候補者について、委員資格の要件を確認し、全員が要件を満たしていましたので、資料のとおり、委員推薦会議として、西蒲区自治協議会に推薦しますので、承認くださいますようお願いいたします。</p>
議長 （吉田会長）	<p>ありがとうございました。ただ今の件については、新潟市区自治協議会条例規則第3条第4項にて、区自治協議会は推薦会議の選考結果を尊重し、議決により委員候補者を決定するものとする定められております。</p> <p>こちらは委員の人事にかかる案件ですので、ご承認くださいますようお願いいたします。</p> <p>第10期西蒲区自治協議会の委員候補者、残りの3名について、委員推薦会議の案のとおりでよろしいでしょうか。よろしければ拍手をお願いしたいと思いますが。</p>
（会場）	（拍手）
議長 （吉田会長）	<p>全会一致だったと思います。それでは、決定とします。大変ありがとうございました。</p> <p>参考までに20人ですが、鈴木委員がコミ協から出るので、実際は19人が新しいかたちになります。</p> <p>続きまして、報告（1）「新潟市教育振興基本計画について」です。教育委員会教育総務課、学校支援課より、説明をお願いします。</p>
（坂井教育総務課主	よろしく申し上げます。新潟市教育委員会教育総務課の坂井と申しま

査)

す。本日はお時間をいただき、ありがとうございます。

私からは、今回策定しました、新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～について、説明します。

資料としては、資料 4-1 と概要版を配布しています。資料の 4-1 を投影画面に映しながら、説明します。

初めに、新潟市は平成 18 年に、新潟市教育ビジョン基本構想・基本計画を策定しました。基本目標を、学校教育・生涯学習・教育行政という 3 つの柱のもと、それぞれの方向性を示したところです。そして、次代の新潟を支え、世界に羽ばたく心ゆたかなこどもをはぐくみ、市民が生涯を通じて学び・育つ社会づくりのため、教育の方向性のあり方を明確にしました。なお、基本構想を実現するために、これまでに実施計画を 4 期にわたって策定し、今日に至っております。特に、学・社・民の融合による人づくり・地域づくり・学校づくりは、19 年にわたる施策事業の推進を通して、学校と地域が協働する取組を進めてきたほか、本市の強みである農業や文化、子育てなども連携しながら注目されるものとなりました。

そして、このような取組について、市民、大人やこどもに、昨年度、策定に関わるアンケートを実施しました。アンケート結果としては、例えば、成果が出ているところとしては、情報教育の充実、ICT を活用した教育の推進や、保護者や地域と連携した安心・安全な学校づくりの推進、地域と共にある学校づくりの推進等です。一方、取組が進んでいないのではないかというご意見をいただいたものとしては、例えば、教職員への支援体制の充実や、教育関連施設の整備充実、家庭教育・子育て支援の充実といったものがありました。次に、児童・生徒のアンケート結果についてです。こちらは自由記載で、出現回数が多いものほど、図に言葉が大きく記されています。ご覧のように、設問 1 では共通して「英語」や「コミュニケーション」という言葉が挙げられています。このようなことから、今後も、児童・生徒の英語力を高めることや、コミュニケーション力を高めることなどが必要であると考えています。設問 2 では、どの学年においても「思いやり」が挙げられています。このようなことから、今後も心の教育を大切にする必要があると思っています。設問 3 では、「ボランティア」や「地域」が挙げられています。改めて、地域との絆を深め、地域への愛着や誇りを醸成することが大切であると考えています。設問 4 では、共通して「いじめがない」という言葉が挙げられています。このような結果からも、誰もが安心して過ごすことのできる学校づくりが必要であると考えています。

このように、市民の皆さまやこどもたちの声を参考としながら、このたび、新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～を策定しました。

概要について説明します。初めに、策定趣旨・位置付け・構成についてです。本市では、先ほど申し上げたように、平成 18 年の現行の教育ビジ

ョンを策定して、さまざまな施策を展開してきました。しかしながら、少子高齢化の加速や、グローバル化のさらなる進展など、社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、これまでの成果や課題を踏まえながら、このたび、新たに本市の教育の方向性を示したところです。計画期間は令和7年度から8年間となり、基本構想では新潟市の教育が目指す人間像、基本計画では基本的な方向性、実施計画では基本計画を具現化する各種事業を示しています。また、全国的な動きとしては、グローバル化の進展や Society5.0 の到来など、教育を取り巻く状況が変化しています。国においては、第4期教育振興基本計画を策定して、今後の教育政策に関する基本的な方針を定めています。

次のスライドに移ります。このようなことも踏まえながら、このたびの計画においては、本市の強みである、例えば、さまざま困難を乗り越える力、充実した地域の力、人材の輩出の下地などを踏まえるとともに、これまでの取組における成果や課題を踏まえて策定しました。具体的な課題としては、例えば、将来の夢や目標を持つこどもの割合が減少するほか、生涯学習ボランティアの高齢化や固定化、不登校児童・生徒の増加などが挙げられて、教育に関わる課題が多様化・複雑化しています。そのような中で、生まれてから一生涯を見通した幅広い視点で、新潟市民の生活が心身ともに豊かになる教育、そして、誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育、これらをコンセプトに、本市の教育が目指す人間像「しなやかに 世界と未来を 創る人」を設定しました。なお、この「しなやか」の言葉は、粘り強さ、たくましさという意味も含んでいると考えています。そして、世界という言葉は、グローバルな世界のほか、自分に関わる身近な地域社会、こういったことも表しています。既成概念にとらわれず、挑戦する気概を持って新たな価値を創造しながら、しなやかに、世界や未来を創り出していく新潟市民であって欲しい、という願いを込めています。そして、目指す人間像の実現に向けて、4つの基本的な方針のもと、14の基本政策を定めて、総合的・体系的に進めていきたいと考えています。

次の資料です。基本方針1は、生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくりです。これからの時代、年齢を問わず学び続け、夢や希望に向かって挑戦し続けること、生涯学習を通じて自らを高めることが大切であって、教養を高めることや健康に関心を持つことが、ウェルビーイングの向上につながります。基本施策1では、多様な学習機会の提供、循環型生涯学習の推進に一層力を入れるとともに、基本施策2では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組を進めます。基本施策3では、子どもたちが夢や希望に向かって挑戦し続けられる取組を進めるほか、基本施策4では、自らの健康に関心を持ち、主体的な健康づくりができるように支援します。例えばということで、具体を挙げてみます。基本施策1では、生涯学習ボランティア育成事業などを実施して、市民が将来

を通じて学習した成果を、人づくりや地域づくりにいかす、循環型生涯学習を推進します。基本施策2では、こども一人一人の確かな学力を育成するために、教育活動を充実させるとともに、本市の特色であるアグリ・スタディ・プログラムに基づく体験学習を通じた、学力の育成にも力を入れたいと考えています。

次に、基本方針2です。豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくりでは、市民一人一人がお互いを尊重し、認め合い、多様性のある社会を実現していくことが重要であり、豊かな人間性と高い志、協働による新たな価値の創造が、持続可能な社会の維持・発展につながると考えています。そこで、基本施策5では、様々な違いを認め合い、共生する社会の実現を目指すほか、誰もが安心して過ごせる学校づくりを進めるとともに、基本施策6では、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進めるほか、自分らしく学び成長する特別支援教育を推進します。基本施策7では、歴史や文化などへの理解を深め、諸外国の人々と互いの文化などを理解し合い、信頼関係を築くとともに、基本施策8では、自信と誇りを持って生きることができる教育を進めます。例えばということで、基本施策6では、不登校・不登校傾向対策事業など、多様な児童・生徒の学びを保障するための居場所づくりや、安心して過ごせるための環境づくりを進めます。基本施策7では、国際交流推進事業など、日本や諸外国の歴史や文化などに対する理解を深めて、諸外国の人々と互いに信頼関係を築けるような教育を推進します。

次に、基本方針3、地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくりでは、地域課題の解決につながる、実践的な学びなどを通して、郷土への誇りや愛着、貢献意欲を醸成します。基本施策9では、ネットワークづくりにより、社会に変化に応じた教育活動を改善するほか、豊かな体験活動や多様な学習機会を提供するとともに、基本施策10では、本市の特徴である農業をはじめ、歴史や文化などの本市の魅力に気付き、ふるさとへの誇りを培うといった取組を進めます。基本施策11では、子育て中の保護者も安心して学べる機会などを提供するほか、悩みを共有できる仲間づくりなどの取組を進めます。例えばということで、基本施策9では、地域とともにある学校づくり推進事業を実施し、学校と地域が連携して、こどもの学びと成長を支えてもらいます。基本施策11では、ブックスタート事業など、乳幼児期からの家庭での読書習慣を形成するために、図書館と保育施設などが連携して、発達段階に応じた効果的な取組を進めたいと考えています。

最後に、基本方針4、多様な学びを支える教育環境の整備・充実では、安心して学びに向かうことができる教育環境を整備するほか、教育関係職員が専門性を高めて、その力を発揮できる体制を整備します。基本施策12では、教育機会の確保に努めるほか、中学生が継続してスポーツ活動などに親しめる環境整備を進めるとともに、基本施策13では、こどもたちが

	<p>学びのコミュニケーションツールとして、ICT 機器を活用できるよう、指針などの作成や必要な環境を整えます。基本施策 14 では、すべての教職員がいきいきと子どもたちと向き合うため、学校や地域などが一体となって働き方改革を推進します。例えば、基本施策 13 では、教育 DX 環境整備事業などを実施しながら、児童・生徒が学びのコミュニケーションツールとして、ICT 機器を活用できるよう環境の整備や教職員研修を充実させます。例えば、基本施策 14 では、市民に信頼される教職員も育成するとともに、教職員がいきいきと子どもたちと向き合うための働きかけ・支援を進めたいと考えています。</p> <p>以上が、新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～の概要です。この計画を本市のコンパスとして、教育を通じて市民の皆さまが豊かな人生を送ることができるよう、各種事業を展開したいと考えています。説明は以上です。ご清聴ありがとうございました。</p>
<p>(三條学校支援課長)</p>	<p>学校支援課の三條貴之です。私からは、市教委から皆さまにお伝えしたいことがありますので、少しお時間をいただきたいと思います。</p> <p>資料 4-2「中学生のための地域クラブ活動 推進方針」をご覧ください。この推進方針は、将来にわたり、子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保に向けた、本市における基本的な方針とスケジュールとなります。時間の都合がありますので、特にというところを説明します。</p> <p>2 ページから 4 ページには、策定の背景を記載しています。後ほどご覧いただきたいと思います。</p> <p>5 ページ以降を見ていきたいと思います。5 ページには、具体的な取組を記載しています。6 ページの (3) 実施主体をご覧ください。タブレット端末やスマートフォンから、クラブを検索できる団体リストというものがあります。現時点では、約 150 クラブの情報が掲載されています。部活動に設置されていた活動だけでなく、多様なクラブ情報が掲載されています。地域クラブ活動の体験会については、来年度も主に、小・中学生と、その保護者を対象として、各区で開催を予定しているところです。今年度は、出展するクラブの種目数や来場される方の人数にばらつきがありました。そういった課題がありますので、周知方法を工夫したり、内容の充実を図ったりして、さらに有意義な体験会となるように準備を進めています。(4) 指導者リストです。このリストは、県とも連携しており、現在の登録者数は、市と県のリストを合わせると、計 55 名となります。指導者リストを見たクラブから問い合わせがあり、指導者とマッチングが図られ、その後、指導者がそのクラブで指導を続けていく、というお話も聞いています。7 ページをご覧ください。活動場所についてです。地域クラブが、中学校施設を利用できるようにするため、市内すべての中学校の職員玄関・体育館玄関・武道場入口に、地域クラブ活動用のキーボックスを設置しました。平日 17 時から 19 時、休日 9 時から 19 時まで、地域クラブ</p>

	<p>が中学校施設を利用できるように準備を進めています。(6) 地域クラブの設立支援というところです。今年度より、円滑なクラブ設立のため、市独自の補助金制度を設立しました。これまでに多くのクラブから申請があり、補助金を交付しています。クラブから指導者謝金に対する支援がありがたい、補助金があることでクラブが立ち上げやすい、という声もありました。来年度も同様の補助ができるよう、現在準備を進めているところです。8・9 ページには、生徒・地域・学校に期待される効果をまとめました。ご覧いただきたいと思います。10 ページには、大まかなスケジュールが記載されています。春に、国の実行計画が出される予定なのですが、そういった動きを見ながら、このスケジュールを変更する必要があると考えています。</p> <p>また、推進方針には記載されていませんが、来年度から学校支援課内にコーディネーターを配置し、そのコーディネーターからクラブ設立・こども支援といった仕事にあたってもらおうと考えています。</p> <p>国の動向を注視しながら、進めたいと思っています。私からは以上です。ご清聴ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>大変ありがとうございました。新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～と、中学生のための地域クラブ活動について、説明いただきました。</p> <p>皆さまから、何かご質問はありますでしょうか。</p> <p>柳原委員、お願いします。</p>
<p>(柳原委員)</p>	<p>分かりやすいご説明ありがとうございました。</p> <p>私はPTA から代表として来ているのですが、今日、自治協委員になって丸2年が終わります。この間、昨年3月に、地域移行について藤田室長から説明いただいたのですが、結局、実際に関わってくるのは、小・中学生で、令和8年度からということで、昨年だと、小学校5年生が直面すると。私たちは何ができるのかと思い、その当時、巻東中学校のPTA 会長をしていましたが、5月で任期が終わったので、次の会長と2人で、まずは巻地区だと思い、巻東中学校で保護者と地域の指導者に向けて説明会の実施を、藤田室長に依頼しました。藤田室長としては、大きく見て、西蒲区として開催して欲しいということで、7月に開催しました。</p> <p>その時に感じたのは、指導者への補助金、週5回だと年間50万、4回だと40万とか、クラブによって様々だと思いますが、それはすごく良いことだと思いました。ただ、決まっていない部分がたくさんあると思うのです。まだ、完璧に「これで決まり」というところまで来ていないと思うのですが、去年7月の段階で申し訳なかったなと思うことが、こどもが運動部なので、運動部メインで説明会を開いてしまったのですね。それで、ほかの保護者の方や地域の人のお話を聞くと、吹奏楽などの文化部の教室開放、使っていない教室の開放についても目を向けていただくように、まだ準備期間、令和8年度までまだ時間があると思うので、お願いしたいで</p>

	<p>す。以上です。</p>
<p>(三條学校支援課長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>積極的に声がけをいただき、推進室長の説明を聞いていただき、ありがとうございました。</p> <p>実は、吹奏楽については、全市的に問題となっています。指導者の確保や活動場所が、大きな問題になっています。2年前から実証事業を進めている中で、ある学校に吹奏楽が設置できないかということで、モデルの学校も設置しました。その中で、先ほども話が出たのですが、音楽室を使うには学校の玄関から入らないといけない。体育館のように、学校開放のようにはいかないということもあります。そこで、学校の玄関にキーボックスを用意して、使う団体の責任者が学校と同意書を交わしながら、責任を持って開錠し、教室などを使うというようなルールを作りました。全市の中学校に、そのキーボックスを設置し、吹奏楽が音楽室を使うというような取組を進めています。現段階でも、何校か既に実施している状況です。今のところ、こちらには大きな問題は届いてきていませんが、こと細かに状況を把握しながら、適切に活用できるようにしていきたいと思っています。以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>上原委員、お願いします。</p>
<p>(上原委員)</p>	<p>上原です。よろしくお願いします。</p> <p>意見ではないのですが、実は残念な事例が1つありました。私どものコミ協で、地元の小学校で放課後支援を補助事業として行ってきたのですが、今年に入って指導する側の先生がいない、足りなくなったということで、中止にしてくださいという案内がありました。</p> <p>地元の学校で生徒とつながれて、大事なことだと考えて、ずっと支援してきたのですが、中止という運びになりましたので、大変残念だなと思い、発言しました。</p>
<p>事務局 (教育支援センター)</p>	<p>教育支援センターです。今年度まで、5つのコミ協から協力いただき、6つの学校で「放課後学習支援事業」を実施しておりました。</p> <p>教員OBの皆さまが分担して、希望するこどもたちに週に1回、学習を支援するという場だったので、開始からちょうど今年で10年となり、開始当時からお手伝いして下さった先生方も、さすがに年をとってしまい、その後、いろいろな方にお声がけをして、新しい人材を発掘しようとしているのですが、定年延長や再任用制度で働いている人が増えたものですから、補充も難しいという現実があり、今年度でとりあえず終わりにしようという状況になりました。</p> <p>この事業は、教育委員会ではなく、区の活動として、コミ協と行っていた活動ですので、私からお話ししました。ありがとうございました。以上です。</p>

<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにかがででしょうか。 若杉委員、お願いします。</p>
<p>(若杉委員)</p>	<p>西蒲区スポーツ協会の若杉です。 7ページの活動場所にあります、中学校施設について「空き状況をホームページで公開し」とあるのですが、こちらを見るには、具体的にどうすればよいのか教えていただきたいということと、それは、例えば、新潟市の公共システムのような、一般の人も見ることができるようなものなのかと、コーディネーターを置くという話もありましたが、予約の管理は実際にどなたがしていくのか、教えてください。</p>
<p>(三條学校支援課長)</p>	<p>中学校の部活について言いますと、今までは、授業が終わってから6時半ぐらいまで、中学校の先生たちが指導するという時間でした。今後、部活動がなくなる中で、体育館などを使わなくなります。そこで、先生方がほしい5時ぐらいまで勤務しておりますが、それ以降の7時までの間、ジュニア・青年といった枠として、平日に使えるようにしていくことを考えています。7時以降は、市民の方に利用していただいている学校開放がありますので、それまでの時間ということになります。休日も同様で、学校によっては休日学校開放を実施しているところもあるのですが、基本的には、朝の9時から使えるように、進めています。</p> <p>全中学校に、部活のあり・なし、今後どうなるかを確認したところ、すでに縮小しているところもあり、体育館の空き状況を確認できましたので、一覧表にまとめています。市ホームページにアップされていると思うのですが、詳しいことが分からず申し訳ありません。ホームページ上にアップして、皆さまから確認していただくことで、指導者や団体の方たちから、この場所使えるな、ということをご確認いただき、こちらに使用の申込みをしていただくようになっていきます。学校支援課内に担当がいます。</p> <p>コーディネーターについては、学校支援課の地域クラブ活動推進室に5名配置します。そのうち2名が、やりたい活動を探しているこどもを支援したり、先生たちからの質問などに答えたりといった役割を、残りの3名は、クラブを立ち上げるために、例えば、団体や協会、地域の方たちから声が上がってきた時の支援や、立ち上げていただけませんかという願いをするという役割です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。ほかにかがででしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは、報告(1)を終了します。 続いて、報告(2)「西蒲区生活交通改善プランの策定について」です。 地域総務課長、説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>西蒲区生活交通改善プランの策定について、地域総務課から説明します。資料としては、資料5とプラン冊子をお配りしています。 概要をまとめたものということで、資料5をご覧ください。西蒲区の交</p>

	<p>通施策に関する実施計画を定めた、西蒲区生活交通改善プランを策定し、本年4月に公表することとなりましたので報告します。西蒲区生活交通改善プランは、新潟市の交通施策の基本方針「にいがた都市交通戦略プラン」に基づき策定された、「新潟市地域公共交通計画」の一部として策定しました。作成にあたり、関係者で構成する、西蒲区地域公共交通検討会議で、意見交換をして、西蒲区の現状や課題などを洗い出し、必要な対応などをプランに盛り込みました。検討会議には、区民の代表として、西蒲区自治協議会から吉田会長、田中副会長、大橋委員の3名に参加いただいています。2回の検討会議を経て、プランが完成し、公表する運びとなりました。</p> <p>本日は、プランの概要について、ご報告します。プランの目標は、西蒲区の区ビジョンまちづくり計画で掲げる将来像である、「豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、人と人があたたかくつながるまち」を目指し、地域との協働のもと、誰もが安心して、快適に移動できるよう、公共交通の利便性向上などを図ることを目標としています。目標を達成するために、次の3点を基本方針としました。1点目が、既存の公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。2点目が、JR各駅など交通結節点の機能向上を図ります。3点目が、地域や交通事業者などと地域公共交通について協議します。以上の3点を基本方針として、来年度以降、西蒲区の交通施策などを進めていきたいと考えています。なお、詳しい内容については、お配りした、西蒲区生活交通改善プランを、後ほどご覧ください。</p> <p>また、西蒲区では、令和7年度区づくり事業として、地域で支える暮らしの足プロジェクトを実施する予定です。公共交通の利用促進や、地域にあった移動手段を検討する勉強会などの支援を行い、地域とともに、その地域にあった移動手段を検討していく予定です。具体的な内容は、新年度に入りましたら、お知らせできればと考えています。委員の皆さまからも、ご協力をお願いします。私からの説明は以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明のとおり、私と田中副会長、大橋委員で出席して意見を出して、それを改善プランに載せてもらいましたので、後ほど見ていただきたいと思います。</p> <p>今ほどの説明について、なにかご質問・ご意見はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、報告(2)を終了します。</p> <p>次に、報告(3)「区自治協議会会長会議の報告について」です。配布資料はありません。私から説明します。</p> <p>3月18日に会長会議が開催されました。会長会議は、8区すべての自治協議会の会長で構成されており、連絡調整などを行っております。今回は、中原市長も出席され、各区の会長から第9期の振り返りについて報告がありました。私からは、西蒲区自治協議会は、毎回必ず開催していること、議論しやすい環境づくりとして、2月からコミュニケーションタイム</p>

	<p>を試験的に設けたとこと、各部会で取り組んだことを説明し、にしかん応援隊のパンフレットも配布しました。また、来期は、委員が20人変わるということで、前期も20人変わりましたが、各自治協議会でこれだけ委員が変わっているところはあまりないのです。そういったことも含めて報告しました。</p> <p>第9期の振り返り資料は、今日、承認いただいたものを完成次第、委員の皆さまに送付する予定です。</p> <p>余談ですが、その後、今までは会長だけの懇親だったのですが、今回から試験的に、各区の副部長、部長、副部長、会長にもお声をかけて、西蒲区からは田中副部長も出席しての懇親がありました。各区とも非常にパワフルな方ばかりで、今まで自治協にあまり興味がなかったのだけど、自治協に出たらもうはまってしまって、もうすぐ77歳になるのだけど頑張っていきたいとか、81歳ぐらいの方で、76歳ではまってもう3期目だという方もいらっしゃいましたので、年齢関係なしに、非常に皆さまパワフルに活動をされていることが分かりました。今後、第10期も含めて、またこういった機会を設けていきたいと思いますというお話がありました。報告は以上です。</p> <p>ただ今の件について、なにかご意見・ご質問等がありますでしょうか。それでは、報告(3)を終了します。</p> <p>次に、その他、西蒲区の課題・地域の情報などです。初めに、令和7年度西蒲区自治協議会の会議日程についてです。地域総務課長から願います。</p>
<p>事務局 (高橋地域総務課長)</p>	<p>令和7年度の自治協議会の会議日程について、説明します。参考資料をご覧ください。会議日程の表になります。開催日は、今年度と同様に、基本的に毎月最終木曜日で設定しています。再任の委員の皆さまにおかれましては、ご多忙のことと存じますが、日程の確保をよろしく願います。また、各団体から選出されている委員の方は、後任の方にお知らせいただければと思います。新委員の方には、改めて連絡をしたいと考えています。なお、いちばん下の米印にもありますが、開催日は変更となる場合もありますので、あらかじめご了承くださいと思います。私からは以上です。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。来期も引き続きの方は、予定の確保をお願いします。12回目を見ていただくと、西川健康センターが会場となっています。これは、いよいよ区役所の引っ越しということで、西川出張所に地域総務課が入る予定ですので、試験的にそちらの会場で行ってみようということでした。</p> <p>今の件について、なにかご意見・ご質問等がありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>次に、西川さくらマルシェについて、古島委員、お願いします。</p>
<p>(古島委員)</p>	<p>来る4月13日に、西川ふれあい公園でさくらマルシェ、さくらマルシ</p>

	<p>ェという名称では第2回になりますが、開催します。内容は、資料を見ていただきたいのですが、多岐にわたって、こどもから大人まで楽しめるようになっています。特筆すべきところは、鈴木委員がバンドマスターを務めます、地域振興バンドが演奏するという、初めての試みがあります。また、桜が70年以上経っているものもあるので、クラウドファンディングのまねごとのようなもの、苗木の資金集めなど、いろいろなことチャレンジしたいなと思っています。</p> <p>桜の開花に合わせて、いろいろなイベントと日程がどうしても重なるのですが、お時間のある方はぜひ遊びに来てください。以上です。</p> <p>応援隊もお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>一旦中断します。</p> <p>唐澤委員が、ご用があつて先に出られるということで、今期で退任となりますので、ごあいさつを頂戴したいと思います。</p>
(唐澤委員)	<p>唐澤です。1期務めさせていただきました。本当に2年間、お世話になりました。夜の交流会は1回しか出られず、どうしても子育て世帯のため、土日のイベントなどもお手伝いできるものが限られてしまいました。そんな中で、前回からコミュニケーションタイムがあつて、改めて、いろいろな人と意見交換できたのはうれしかったです。大変意義深い場だと思いますが、一方で現役世代にはなかなか関わりづらい、時間制約で役を担えないという部分もあると感じました。来期は、新しく若手が、特に3号委員の中にはたくさん入ってくるということで、コミュニケーションタイムもそうですが、さまざま立場の人たちが参加しやすく、関わりやすい、運営しやすい自治協になっていくといいなと思います。残られる委員の皆さまは、ぜひよろしくお願いします。</p> <p>また、私自身は、西蒲区福井の旧庄屋佐藤家で毎週末に活動していますので、このようなご縁ができたので、皆さまがじよんのび館に入る際には、顔を出していただければと思います。</p> <p>今日の懇親会も家庭の事情で出席できないため、大変恐縮ではありますが、お世話になりました。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>唐澤委員、大変ありがとうございました。</p> <p>ぜひ、このメンバーで今後もつながっていければと思います。</p> <p>それでは、中断してすみませんでした。古島委員、続きをお願いします。</p>
(古島委員)	<p>では、続きになりますが、さくらマルシェの応援隊を資料のとおり、募集をしています。1つ目は、運営補助ということでスタッフの補助活動と、ごみの分別の監視ということで声がけをしていただくという役割が10名。2つ目は、舞台・音響設備の撤収等々と積載に関わる方を10名、募集をしています。</p> <p>おまけという申し訳ないですけども、地元のゆるキャラ「かさぼん」のグッズを、気持ち程度なのですがプレゼントしてみたいと思ってい</p>

	<p>ます。それと、駐車場もありますし、昼食の用意はありませんが、お店がたくさん出ているので、ぜひ活用いただきたいと思います。動きやすい服装でお越しいただきたいのと、軍手等は用意しますので不要です。ぜひ2次元コードと電話、どちらでもかまいませんのでお申し込みいただき、お手伝いいただけたらと思います。ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問はありますでしょうか。</p> <p>ゆるキャラグッズほしいですね。ぜひ、積極的に皆さまよろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、角田山麓・矢垂の郷花見フェスについて、上原委員、お願ひします。</p>
<p>(上原委員)</p>	<p>峰岡コミ協の上原です。特色ある区づくり事業の一環で実施している、矢垂の郷賑わいづくりプロジェクトです。応援隊シートには、イベントの概要や、募集内容として前日準備と当日準備、駐車場の係ということに記載しています。先ほど話題になっていました、弁当・飲み物を用意しています。2次元コードは、今回はついていません。</p> <p>イベント概要にもあるのですが、7・8年前ぐらい前から、しだれ桜を植えていて、現在70本くらいになったでしょうかね。今年は、イベントに合わせて見頃になればと期待しています。お金を出し合って植樹をされていて、毎年観察会もしていたのですが、今年はイノシシの出没がひどくて、キッズダンスなども実施していたのですが、それらは今回中止としました。メインとしては、角田を堪能していただきたいと考えていて、そのほか10時頃から3時過ぎまで演奏などがあります。イベントのチラシにも、ボランティアスタッフ募集と書いてみました。先ほど、話しがあったように、西川や松野尾などと日程的にイベントがかなり重なっていたこともあり、今回キッチンカーは辞退して、地元のお菓子や野菜などの販売を企画しています。</p> <p>先ほどお話ししたように、イノシシの一件がひどくて、会場もとても荒らされて、建設課から整備してもらって、やっと開催できるようになった状況です。じょんのび館のすぐ隣なので、ぜひ、お風呂入りながら桜も眺めていただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。今ほどの説明について、なにかご質問はありますでしょうか。</p> <p>13日は応援隊として、まずテント組み立てで角田山麓に行って、そのあと西川ふれあい公園にも行くということもできますので、ぜひ、お誘い合わせの上、よろしくお願ひします。</p> <p>また、同じく13日の日曜日に上堰瀉公園において、松野尾みらい会と松野尾コミュニティ協議会の共催で、桜のライトアップ、イベントがあります。こちらも9時から午後8時までです。ライトアップは11日から、11日・12日もイベントがあります。今年も渋滞してしまうと思いま</p>

	<p>すが、桜の満開も予報を見るとあやしいかもしれませんが、ぜひイベントを楽しんでいただき、交流していただければと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。大変ありがとうございました。</p> <p>そのほか、皆さまにお伝えしたい行事などございましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>本田委員、お願いします。</p>
(本田委員)	<p>チラシなどはないのですが、4月5日に中之口農業体験公園で、中之口マルシェがあります。飲食ブースで、私が仲間とやっている Ouchi 広場も「中之口のごっつお」ということで、だんご汁を用意しようと思っています。体験ブースもありますので、良かったら一足先の桜を見に、遊びに来てください。お願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。こちらの方も、ぜひ皆さま、足を運んでいただければと思います。</p> <p>なにかご質問はありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議事はすべて終了となります。</p> <p>最後に、本年度で退任される委員の皆さまから、一言ずつ、これまでの自治協議会の感想や次の委員に対することでも何でも、ごあいさつをいただきたいと思います。私から座席順に指名していきますので、よろしくをお願いします。</p> <p>古島委員、お願いします。</p>
(古島委員)	<p>4年間、担当の渡辺さん、藤田さん、そして区役所の皆さま、大変ありがとうございました。4年間、区のために何ができたかは、疑問ですが終えることができました。自治協議会の前は、新潟市の環境審議会の委員を6年やり、終わった時に家内から、もうやめてねと一言、言われました。ですが、地元の強力なキャラクターの大先輩から作文書いて持って来いと言われて、それがきっかけで4年間お世話になることになりました。</p> <p>地元でコミュニティ協議会等の活動もしていますので、いろいろなところでお会いするかと思います。その時はよろしくお願いします。もう、自治協からの手紙がポストに届かないというのは、少し寂しいですけども、本当に4年間お世話になりました。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>続きまして、池浦委員、お願いします。</p>
(池浦委員)	<p>池浦です。2年間、すごく長いような短いような、何をしているのか分からないところに、知らない人たちの中にぽつんと置かれたような気分で、すごく心細く、何をしたらいいのか分からないまま、あっという間に2年過ぎてしまいました。それでもなんとか、皆さまの力添えで、こういうことをやっている人たちがいるのだということが分かったので、これからは、できるだけお手伝いができるように、同じ西蒲区に住んでいるので、お見かけしたらお声かけることもあるかもしれませんし、私を見たら</p>

	声をかけていただけると嬉しいです。ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。野澤委員、お願いします。
(野澤委員)	<p>自治協議会についてこの席に座るまで、よく分からなかったのですが、2年経ち、皆さまが各地域・各地区で頑張ってもらっているのだなと思って、大変感心しました。私は2年で終わりますが、ここで自分が終わっては意味がないなと思っていて、今度は身軽な気分で、皆さまのところに行くかもしれません。その時はよろしくお願いします。</p> <p>最後に、広報誌じちきょうの22号について、広報部会の皆さま、大変ありがとうございました。というのは、中之口に関係するお店を2軒ほど載せていただき、いろいろな話が私のところに来まして、紹介してほしいとか、どこにあるのかとか、中之口はこのようなおいしいものがあるとか。商工会の立場として、大変うれしく思っています。大変ありがとうございました。</p> <p>皆さま、2年間、大変ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。続きまして、柳原委員、お願いします。
(柳原委員)	<p>柳原です。2年間ありがとうございました。</p> <p>先ほども発言させてもらったとおり、私はPTAの代表で来ておりまして、自治協に入って学んだことを挙げるように言われたら、まずは、防災・減災でしょうか。まったく考えたこともない、やったこともないという状態から、サバイバル体験などの事業を通じて、私自身学んだことがあったり、再確認できたりしたことがありました。こどもの周りに親が来て、こどもがパワー出せば、親も元気になり、そしてそれが地域の力となるのだなと、この自治協での2年間を通して、感じました。自治協と関係はないですが、じゃんけん大会も吉田会長といっしょにやって、自治協の中にもメンバーがたくさんいます。本大会を3月1日に行った時に、こどもたちが本気で、なんてことないじゃんけんを競い合うというところに、大人が群がり、場が盛り上がるという、地域活性化とはこれだなと、再確認しました。</p> <p>本当、貴重な2年間、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	続きまして、青柳委員、お願いします。
(青柳委員)	<p>本日で3期、6年間お世話になりました。</p> <p>私は、3号委員の防災士枠で出てきたのですが、私が委員になった時は、新潟市防災士の会の西蒲支部は存在していませんでした。それで、西蒲区の防災士の中から、誰か3号委員にということで、当時、私が女性委員ひとりだったので、女性の委員を自治協でも増やしたいということもあ</p>

	<p>って、お声がかかったのですが、最初はかたくなにお断りしていました。でも、お声がけいただいた当時は、潟東コミ協に在籍していて、カモねぎまつりの準備をしていて、これ以上この話をしていられないなと思って、しかたなく引き受けたのですが、6年経った今、断らなくて良かったなど心の底から思っています。</p> <p>私が自治協委員の活動をしていく中で、西蒲支部の立ち上げにいたりしました。なので、私が委員になっていなかったら、今も西蒲支部は存在していなかったかもしれないと思うのと、先ほどの柳原委員のお言葉と、今日ここに来る前に、前会長の長井さんからお電話があって、「西蒲支部立ち上げてくれてありがとう。お疲れさま。」と。6年間、西蒲区において、少しでも防災意識の向上に貢献できたのではないかなと思っています。そして、防災に取り組む機会を長井前会長、今の吉田会長もたくさん与えてくださって、どうもありがとうございました。</p> <p>4月13日は、西川のさくらマルシェにて防災ブース出すのですが、矢垂の郷も3年前に少し関わっていて、こちらの桜もきれいです。上堰潟公園では、吉田会長が紹介していたイベントもあり、それは、次期自治協委員になる松野尾みらい会の五傳木さんも中心になってやっているものです。どうか皆さま、大変かもしれないですが、3つの会場を回って、最後に西川に来ていただけたらなと思います。6年間、お世話になりました。</p>
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。続きまして、小林正委員、お願いします。
(小林(正)委員)	<p>角田コミ協の小林です。2期、4年間、この自治協の活動に参加させてもらって、本当にありがとうございました。</p> <p>総務部会では、防災関係のいろいろな活動をして、経験できたことが、自分にとって非常に良かったと思います。</p> <p>これからも防災関係に関しては、地域に戻って、いろいろな活動をしていきたいと思います。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。続きまして、若杉委員、お願いします。
(若杉委員)	<p>若杉です。私は、西蒲区スポーツ協会の事務員をしていた時に、自治協議会に出てこないかという話を受けて、私なんかでいいのかなと思いつながら、参加したのですが、実際に皆さまと会ってみて、このようなすごくいい雰囲気でもらって、やりやすかったですし、全然分からないジャンル、分からない世界、そして、西蒲区の中で皆さまがこのように活動しているのだなということを勉強することができて、本当に参加してよかったなど、短かったのですが、とても濃い2年間だったと思います。にしかんライフフェスタは、部を超えて、3部会合同でできたイベントで、特にいろいろな人とコミュニケーションが取れたので、いい事業になったなと思っています。</p> <p>今は、西蒲区スポーツ協会の事務員ではないですが、城山運動公園の事</p>

	<p>務所にいますので、里から少し離れた山ですが、来ていただいた際にはお顔を見せに来ていただければと思います。よろしく申し上げます。どうもありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、渡辺美代子委員、お願いします。</p>
<p>(渡辺(美)委員)</p>	<p>渡辺美代子です。あっという間の2年間、有意義な時間ばかりでした。どうして私のような高齢者が、と思った時もたくさんありましたが、自分にとってとてもいい体験となりました。ありがとうございました。</p> <p>特に、青柳委員から学んだ防災のことは、ずっと身につけています。ありがとうございました。新潟地震を体験した私は、現在の防災について、とても進化している、素晴らしいと思いました。</p> <p>それから、にしかんぐーという言葉、絶対忘れません。いい言葉ですよ。ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、八百板委員、お願いします。</p>
<p>(八百板委員)</p>	<p>農村地域生活アドバイザーから参りました、八百板です。3年弱を振り返ると、自治協議会の存在さえ知らない中で参加して、本当に申し訳なかったなど。それでも参加するほど、回を重ねるごとに、少しずつ自分の立場を理解することができました。私は、保健福祉部会に所属しましたが、さまざまな課題があることを知りました。高齢者との関わり、地域での支え合い、ごみ問題などなど、実際に取り組むことが難しい問題が山積しています。それをどのように良い方向にもっていくのか、1人の力では到底できないこと、小さなことでも一步一步踏み出すこと。とりわけ、「ぼけますから、よろしく申し上げます」の映画や、若年性認知症の実話に基づく映画上映のお手伝いできたことは、良い経験となりました。今後も、地域にある問題を見つめ、微力ではありますが、それに力を貸すことができればと考えております。海あり山あり田んぼありの、私たちの住む西蒲区。住民の声が反映され、住みたくなる「にしかんぐー」になることを望んでいます。</p> <p>皆さまには、大変お世話になりました。私自身、大変勉強になりました。感謝申し上げます。そして、勉強したことを恩返しとはおこがましいのですが、地域でできること少しでもやっていけたらな、力になればなど思っています。長い間ありがとうございました。</p>
<p>議長 (吉田会長)</p>	<p>ありがとうございました。続きまして、小林委員、お願いします。</p>
<p>(小林(裕)委員)</p>	<p>西蒲区社会福祉協議会の小林です。皆さま、大変お世話になりました。来期も務めるつもりでいたのですが、4月から異動となり、残念ながら委員を継続することができなくなりました。この2年間、本当にさまざまな団体の方から、いろいろな視点でのお話を伺い、大変勉強になりました。</p>

	<p>た。よい学びとなりました。</p> <p>私は巻に住んでいますので、西蒲区の間人です、今後もどこかでつながらる機会があると思います。今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>続きまして、村山委員、お願ひします。</p>
(村山委員)	<p>村山紘です。私は、西蒲区の間人クラブの連合会から推薦を受け、2年間委員と務めました。保健福祉部会に所属し、1年目は、先ほど話もありましたが、映画上映や講演を実施し、受付係で大変でした。でもやっけて良かったなと思っけています。そして、2年目ですが、この2年目が大変でした。これからも続けたいという気持ちがあったのですが、9月の中之口地区の間人会で、私の妻が転んでしまい、骨折して、病院に救急車で運ばれました。介護から離れるわけにはいかず、本当は皆さまとフェス田で一緒にやる仕事もあったのですが、それも全部キャンセルして、ご迷惑ばかりかけてきました。申し訳なかったと思っけています。今もリハビリを頑張っけています、これからも続っけています。</p> <p>私は、私を推薦してくれた西蒲区の間人クラブの連合会長のところへ、自治協が終わると毎月1回、報告に行っけていましたが、私がこのような状況なので、後任者を探さないといけななではないかと言われしました。それで、誰がいいかなと。ぴんと来たのが、私の後任として名簿に載っけている藤田さんだったのです。高齢者になると、買物や医者に行きたくても、車もないし大変な状況なのです。そんな時に、助けてくれる取組を潟東でやっけていて、自治協委員の後任をお願ひしたところ、こころよく引き受けしてくれたのです。</p> <p>私は潟浦新に住んでいますが、実は潟浦新でも、本当に困っけている高齢者をみんなで支え合っけていこうというものを、近いうちに立ち上げようと頑張っけています。私は自治協の委員をやめたとしても、できる仕事は続っけていきたいと思っけています。本当にご迷惑をおかけしたり、心配をかけてしまったりして、申し訳ありませんでした。私自身も、介護について勉強のつもりでやっけていきたいと思っけています。</p> <p>最後に、この会は、私を育ててくれました。ぜひ皆さま、こここでやっけていることを周りの人に広めてください。私自身もこれからは生かしていききたいと思っけています。少し長くなりましたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。それでは、小林副会長、お願ひします。</p>
(小林(ア)委員)	<p>私は、2期4年委員を務めました。でも4年やっけても、まだよく分かりません。そして、2期目は副会長にならないかということで、ほんの少し悩みましたが、受けて良かったなと思っけています。人生は短ななので、自分ができることはもう限られていっけていっけています。皆さまとお会いする機会をい</p>

	<p>ただけて、すごく幸せ者だなと思っています。</p> <p>2期でやめて、母体に戻りますが、時間的な余裕がありますので、母体でその力を存分に発揮したいと思います。そして、皆さまの活動について、残念ながら私は母体にあまり反映できていなかったなと思っているので、今後はなにかあったら連絡いただければ、できることは協力していきます。私ができなかったら、母体になんとかしてくれる人がいないかと探しますので、ぜひ、私を頼ってきてください。よろしくお願ひします。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>それでは、田中副会長、お願ひします。</p>
(田中(弘)委員)	<p>岩室コミ協の田中です。ありがとうございました。</p> <p>年を重ねると、本当に時間が経つのが早くて、あっという間の2期、4年でした。その間、さまざまな議論をした仲間である区民の皆さま、そして、それを支えていただいた新潟市の職員の皆さま、本当にありがとうございました。お世話になりました。皆さまとのかけがいのないネットワークができて、本当に幸せです。</p> <p>そして最後の2年は、副会長として、本当に力不足の副会長で申し訳ありませんでしたが、皆さまからご協力いただき、本日をもってなんとか務め上げることができたと思っています。</p> <p>これからは、岩室コミ協でもう少し会長として活動していきますので、気軽にお声がけいただければありがたいと思います。本当にありがとうございました。お世話になりました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>皆さま、ありがとうございました。私は、3期目も参加するのですが、一応、9期の会長としてお礼を申し上げます。皆さま、第9期のスタート時を思い出してみてください。私のような者が立候補して、渡辺忠矢委員も立候補して、会長選挙から始まり、今ほど小林アサ子委員が言ったとおり、副会長を誰にするかというのは、その場で顔を見て決めました。お2人とも、副会長を受けていただき、大変ありがとうございました。</p> <p>私は、議論を深めたいということ、話しやすい自治協議会を念頭に置いて、活動してきたつもりです。ただ、振り返ってみると、コミュニケーションタイムを今頃始めるなど、非常に申し訳なかったと思う部分もありますが、委員の意見聴取や議論等については、皆さまから活発に発言いただいたおかげで、一部でしょうが、市政、西蒲区の事業に反映できたのではないかとお願ひしております。これもすべて、両副会長、また、各部会長を含めた皆さま、一人一人の委員からご協力いただいたおかげだと思っています。ただ、3部会合同事業の大風や大雪も私が原因だと思っています。天候で、皆さまに不自由をおかけしましたが、ご勘弁願ひたいと思います。</p> <p>おかげさまで9期の会長として、終わることができました。改めまして、皆さまに感謝を申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。</p>

	<p>大変ありがとうございました。また、区長、事務局、課長、所長の皆さまも大変ありがとうございました。</p> <p>それでは以上で、事務局にお返します。</p>
事務局 (藤田補佐)	<p>ありがとうございました。それでは、第9期西蒲区自治協議会の閉会にあたり、区長よりごあいさつ申し上げます。</p>
事務局 (堀西蒲区長)	<p>区長の堀です。第9期の自治協議会は、本日で終了となります。退任される委員の皆さま、本当にありがとうございました。また、第10期も継続して委員になっていただく皆さま、今後ともよろしくお願ひします。</p> <p>自治協で何をしたら良いのか、という声を未だにたくさんいただきます。難しい話は別の機会にしますが、今日もありましたとおり、行政から説明する議案や報告に対して、それはいいよ、それはちょっとどうかな、あるいは軌道修正をして欲しいというものは、皆さまの役割として分かりやすいと思いますが、そういった案件がない月もあるわけです。その時に、他区では議題がないため休会としている場合がありますが、それならば自治協議会はいらないと思います。今日、冒頭にありました、各部会から報告に対して、皆さま手を挙げて積極的に発言いただいていたが、地域の課題がないわけがないのです。福祉であったり、公共交通であったり、さまざまな課題がある。それは、西蒲区だけでなく、新潟市8区すべてであるはずで、課題があれば話し合う、それが自治協議会だと思っています。話し合いをしても、課題の解決にはいかないかもしれませんが。そんなに簡単な話ではないので、解決には至らないでしょうけれど、少しでも解決に近づけるアプローチを皆さまに話し合っただき、区役所にぶつけていただく。そして、イベントありきではないですが、いっしょに活動していただく、まさに協働ですね。いっしょに活動していただくことが、委員の皆さまに私どもが願ひしているものの1つです。もう1つは、先ほどの皆さまのごあいさつの中でもお話しいただいた、地域の代表であったり、各団体の代表であったり、公募委員をはじめとするそのほか市長が認めるものということで、さまざまな出身母体から一堂に会していただく場はこの自治協議会だけです。老若男女さまざまな立場の委員のいわゆる横のつながり、直接的な行政とのやり取りだけではなくて、皆さま方同士のつながりを深めていただき、それぞれの活動にいかしていただく、これが自治協議会の大きな役割です。</p> <p>西蒲区、明るく楽しくにしかんぐー。これからもそのような地域になりますように、今回で退任される方々含めて、引き続き、お力添えをよろしくお願ひします。</p> <p>区役所も4月に人事異動がありますので、私から紹介したいと思います。まず、地域総務課課長、副区長の高橋裕です。新潟県後期高齢者医療広域連合に市から派遣となります。地域総務課長、副区長の後任は、現在、区民生活課長をしております、小林基です。小林基区民生活課長の後任は、今日は出席していませんが、現在、環境部廃棄物対策課で課長補佐</p>

	<p>をしております、辻村竜也となります。産業観光課長の高野和久は、本日は出席していませんが、退職して、坂井輪地区公民館長となります。後任は、現在、農林水産部農業活性化センターの所長補佐の小出隆嗣です。建設課長の田辺匠逸は、異動して秋葉区建設課長となります。後任は、現在、土木部みどりの政策課長の桑原浩史です。最後になりますが、潟東出張所長の上原文昭は、3月末をもって退職となります。後任は、現在、白根地区公民館長の杉山豊です。</p> <p>4月以降も職員一丸となって、西蒲区をこれまで以上に明るく楽しいまちにしていきたいと思っておりますので、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (藤田補佐)</p>	<p>本日、各常任部会はございませんので、以上をもちまして、令和6年度第11回西蒲区自治協議会を終了します。ありがとうございました。</p>